



素晴らしい切れ味が長く続く「Geek®」。いつまでも、ご愛用していただくために

品質保証について

◆シリアルナンバーによる1つ1つのハサミを管理・サポート

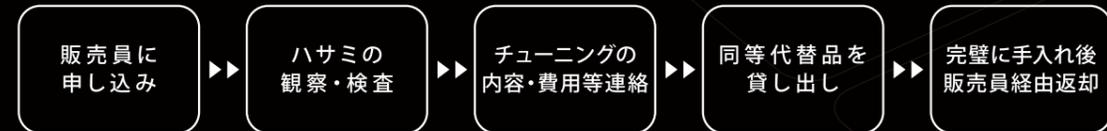
geekハサミは、全てシリアルナンバーが打ってあり、お客様の住所、氏名、サロン名等を登録し1つ1つ管理致します。ハサミの刃先からコーティング状態など、メンテナンスやチューニング時の情報もお知らせし、品質を保証します。



◆日頃のお手入れがとても簡単です。

<p>パッキンの交換</p> <p>ネジ内部で微妙に寸法調整に貢献しています。摩耗すると刃先が揺れてしまいます。交換でアライメントが元に戻ります。細かな物ですが、驚く程の効果を発揮します。</p> 	<p>刃先のS-DLC</p> <p>S-DLCはゆっくり摩耗します。メンテナンス時にメーカーで顕微鏡観察を行い、必要と判断した場合にはお客様に連絡し再コート致します。</p> 	<p>やってはいけない事</p> <p>S-DLCや鉄刃部に悪影響を及ぼすので150度以上の温度を与えないで下さい。また急激な温度変化もさせないで下さい。刃先に影響が残る場合があります。</p> 	<p>お手入れ</p> <p>様々な薬品が鉄に付きます。お仕事の最後に布で拭き取り注油して下さい。S-DLCの溝に入り、開きまで廻り快適な動きを回復します。</p> 
---	---	--	---

◆ハサミの検査&チューニングサポート



メンテナンスのご依頼は、販売員にお申し付けください。観察・検査を行い、チューニングや手入れの内容や費用などの情報のご説明を行います。必要に応じ同等品の貸し出しを致しますので、習熟した切れ味が手元から離れるようなご迷惑をおかけする事はありません。完全な状態にしてお客様の手元にお返す事ができます。

世界最先端 MADE IN TOKYO

<p>東京工業大学</p> <p>Advanced Technology Development</p> <p>最先端技術開発</p>	<p>大田区の技術</p> <p>Precision Machinery Industry</p> <p>精密機械工業</p>	<p>ハサミの匠</p> <p>Skillful Scissors Craftsman</p> <p>ハサミの名工</p>	<p>現代の名工</p> <p>Master-Hand</p> <p>理容界の現代の名工</p>
--	--	--	---



プロフェッショナルに認められたハサミ。いつまでもよく切れて、いまままでにない使い心地をお楽しみください。

PCページをご覧になる方は右記のQRコードをご利用ください



販売元 **株式会社 iQubiq**

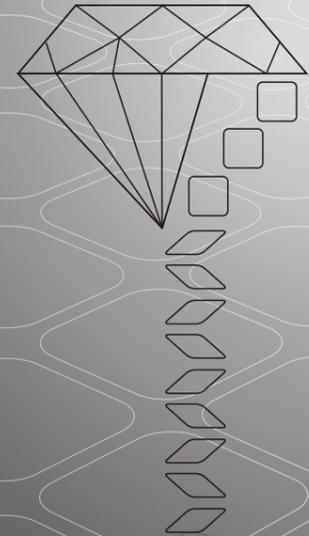
〒143-0015 東京都大田区大森西4-18-13 Tel. 03-3765-1820
メールアドレス info@iqubiq.com ホームページ http://www.iqubiq.com

製造元 **株式会社 iMott**

〒143-0013 東京都大田区大森南4-6-15 テクノフロント森ヶ崎402 Tel. 03-6423-8314
メールアドレス info@imott.co.jp ホームページ http://www.imott.co.jp

Geek®

FOR PREMIUM HAIR DESIGNERS



Geek®

いままでの常識をくつがえす切れ味と耐久性をもつハサミ

geek=“こだわり”が誕生しました。

切れ味が
長く持つ

長時間
疲れにくい

髪を
傷めにくい

先端技術の
融合

構造

ハサミの構造を根本から見直し、最良の設計をしました。長く切れ続けるためには、1ミクロンの刃先をガタツキなく、均等な力で擦り合わせる必要があります。立体構造でできている理美容のハサミだから酷使されるパーツを強化し、ハサミへのストレスを軽減しました。



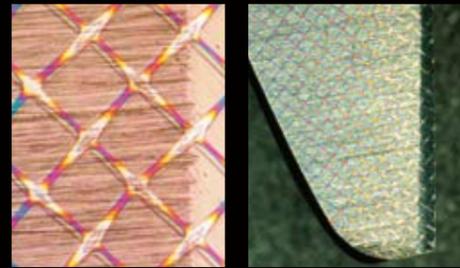
ネジ

表裏のネジをフラット構造にしています。髪の毛に引っかからないように滑らかな動きを可能にしました。

最先端技術 S-DLC

擦れ合う部分に最先端技術S-DLC(タイル状のDLC)を成膜しています

理美容のハサミは、1日に数千回の開閉をする消耗の激しい道具です。刃と刃が擦れ合う部分に最先端の工学技術であるS-DLC(タイル状のダイヤモンドとグラファイトでできている膜)を成膜することで、他にはマネできない表面の硬さと摩擦係数低減を可能としたのです。金属の4倍以上の硬度と、1/4の摩擦係数を持つ素材は、geekの特許技術です。



ハンドル

手にフィットして疲れにくい

厳選されたマテリアルを使用

厳選されたSUS系列物用鋼材を厳しい条件下で熱処理し、硬度計測管理されたマテリアルを使用しています。



Geek®
髪を傷めない

新設計

日本刀のように、刃の真ん中を通る背骨を持つことで、刃先まで力を伝えます。刃先まで同じ力を伝えることができなかった理美容のハサミに、日本刀の様に刃の真ん中を通る背骨を持たせることで、刃元から刃先まで力を伝えることができるようになりました。この構造が、既存の剣刃のハサミよりも軽く、刃が長持ちする、geekの新設計なのです。

波形形状

刃元から刃先まで、髪を一定の力で切ることができます。切る力を一定にするために、刃の厚み、刃の開閉角度を計算して設計された形です。ハサミを使用する人の負担を軽減すると共に、髪の毛を傷めないための工夫にもなっています。



S-DLC

セグメント構造ダイヤモンド状炭素膜

■ハサミの内面には細分化された硬質膜がコーティングされています。「ダイヤモンド状炭素膜」と呼ばれる炭素を主成分とした硬質膜で、ダイヤモンド構造が約30%、グラファイトが約50%、水素が約20%という比率で非結晶状態になっています。このため、ダイヤモンド由来の硬さとグラファイト由来の滑らかさを併せ持つ性質を示します。ダイヤモンド状炭素膜は英文の頭文字をとり、Diamond-Like Carbon ⇒ DLC と呼ばれています。

■ハサミにコートしているS-DLCは、株式会社iMottが保有する特許技術セグメント構造で、刃先が微妙に動いても、薄膜が剥離しにくいという特徴を持っています。

■細かなタイル状の薄膜がびっしり付けられています。タイルの間には細い溝があり、その中には潤滑性を高めるオイルが入る構造となっており、油切れを起こしにくい状態を維持しています。

ながく切れ続けることに、
こだわった

Geek®
いつまでも
切れ続ける

理・美容師にとってのハサミは、プロとして大事な道具。お客様の髪を傷めず、引っかかず、きれいな仕上がりを作ることが、道具としてのハサミに要求される機能です。また、いつまでも安定した仕上がりをお客様へ提供できるように、最先端の技術を取り入れ、ハサミの構造を見直し、多くの検証、実験を繰り返し、長く同じ感触でカットできるハサミを作りました。

一般のハサミと違い
切れ味保つ



腕や体の負担を低減し
疲れず使える

Geek®
ストレスなく
疲れず使える

理・美容師にはそれぞれ、無理な体勢で切らなければならないカット方法があります。1日に何時間ものカットをするプロだから、ストレスなく、負担のないハサミが必要となるのです。ハサミの開閉に必要な力、カットする手の角度、ハサミの重量とバランスを徹底的に検証し、身体への負担を極限まで低減した設計で開発しました。

Tokyo発 世界最先端の技術

ec®

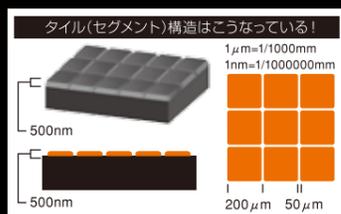
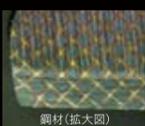
エターナルカーボン
eternal carbon

エターナルカーボン既存の常識を超えた、次世代コーティングの特許取得!

Segmented-Diamond Like Carbon(S-DLC)

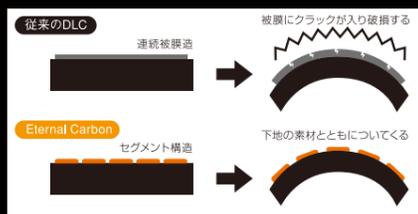
Ultra-Thin タイル状で超薄被膜を実現

エターナルカーボン(ec®)の最大の特徴は、DLC(ダイヤモンドライクカーボン)被膜が、タイル状になっていることにあります。この特性により、柔軟な素材、絶縁素材、膨張する素材への成膜が可能となりました。ハサミに使用される鋼材でも成膜できます。



Flexible 柔軟な素材にもなじむ

エターナルカーボン(ec®)は特別な方法で成膜したタイル構造のDLCです。DLCは非常に硬い物質で、同時に非常に薄い被膜です。素材の変形により容易に剥離したり、亀裂を生じたりします。ec®はDLCをタイル構造にすることで、溝部で変形する力を受け、膜にストレスを与えず、素材の変形や膨張に耐えうるものとなったのです。



Durable 金属疲労・摩耗に強い

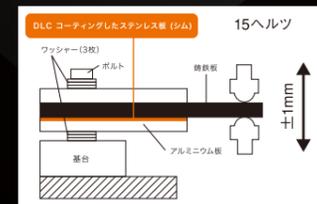
エターナルカーボンは、フレットング摩耗(微細な振動による摩耗)を飛躍的に軽減し、よりエネルギー効率を良くする新素材です。

- 膜が不連続構造をとることにより、繰返しの基材の変形にも耐えることができます。
- 剥離が生じた場合においても、剥離の進展を最小限に抑えることができます。
- 膜が不連続構造をとることにより、高面圧に耐えることができます。
- セグメント間の溝に摩耗粉をとらえることができます。

連続膜とエターナルカーボン(セグメント膜)では、これだけ違う!



フレットング検査



Anti-friction 摩擦抵抗が圧倒的に減る

- 圧倒的に摩耗に強い
摩擦の多い箇所では、摩擦による振動、熱が発生しています。ec®はこれに耐えることができる構造になっています。
- 油や流体潤滑剤と併用することでより摩擦を低減できます
- フッ素樹脂などの固体潤滑層と併用することで、より摩擦を低減できます
上記の流体潤滑剤同様、余分な潤滑剤、ゴミを排除し、より低い摩擦力で表面を覆うことができます。

